会　議　結　果

1　会議等名	平成24年度第2回伊豆の国市地域公共交通会議
2　開催日時	平成24年8月20日（月）13時30分～15時00分
3　開催場所	伊豆の国市役所長岡庁舎3階　第1・2会議室
4　出席者	出席委員15名 欠席委員2名（鈴木委員、相馬委員） 代理出席3名 　国交省中部運輸局静岡運輸支局　古橋氏（村上委員代理） 　県交通政策課　小林氏（宮﨑委員代理） 　市教育総務課　鈴木氏（小野田委員代理） 事務局 　伊豆の国市政策企画課　名波課長、植松、塩谷
5　議事	**（1）伊豆の国市自主運行バス（千代田団地・韮山駅線）の運行状況について** 　事務局より、平成24年4月1日から市自主運行バスとして運行を開始した、千代田団地・韮山駅線の運行概要、経緯、運行状況、利用者アンケート結果、意見交換会結果等について、資料№1により説明。 **委員**： 　路線全体の利用者を増加するためには潜在的な需要をどうするのかという点も必要。地域住民がこのバスを知っているかどうか把握しているか？ **事務局**： 　今回の意見交換会は、利用者の意見を聞きたいと考え、利用者と千代田区の役員のみを対象とした。今後は対象を広げて開催したい。 **会長**： 　このバスは地区の要望があり、市としても何とか残したいと考えて実験バスも運行した。一旦廃止してしまうと復活することは難しい。できるだけ経費を節減しながら、地区の皆さんが利用しやすいものにできないだろうかと考えている。 **委員**： 　運行状況やアンケート結果の分析が必要。「地域で考えて」と投げかけてもこのままで考えることは難しい。なぜこのような結果になったかを分析し、ニーズと何が違うのかを提示すれば、地域の方とより良い話し合いができるのでは。 **（2）立花台区及び星和区における取組の進捗状況について** 　事務局より、地域住民が主体となった交通サービスについて

	検討を開始した、立花台区及び星和区における取組の進捗状況を資料№2 により説明。 **委員**： 経費の負担について、運行経費は何百万円、何千万円とかかる場合もあるので、行政負担の割合が 1/2 や 1/3 では地域は維持できない。負担割合については他市町村の状況を正確に説明し地域と協議すべき。 **会長**： 地域が主体になってコミュニティバス等を運行する場合、安全の確保や事故等の賠償責任の所在が重要になると思われる。 **委員**： 地域公共交通では安全・安心の確保は重要な課題。市町村有償運送では、任意保険への加入等、安全・安心について担保してもらう必要がある。また、市町村有償運送で運行を交通事業者に委託する場合、運行受託者が責任を負うという契約方法もある。 **委員**： 千代田区でも立花台区でも高齢者の移動という視点で考えているようだが、自動車運転免許を持たない子ども達にとっても重要な問題。子ども達の声についてはどのように考えているか？ **事務局**： 子ども達や子育て世代の移動についても考慮が必要なことは立花台区の検討委員会でも承知している。今回のアンケート調査では子どもの移動についても回答してもらうような設問となっている。 **(3)「伊豆の国市地域公共交通基本計画（仮称）」の策定に向けた調査について** 事務局より、第 1 回会議で報告した調査事業の進捗状況について、資料№3 により説明。 **(4) 伊豆の国市自主運行バス（大仁駅前・田原野線）の始発場所の変更について** 事務局より、第 1 回会議で承認を受けた、市自主運行バス（大仁駅前・田原野線）の運行内容の変更について、平成 24 年 8 月 28 日から変更する旨を資料№4 により説明。
6　懸案事項	特になし